



レタス「ロマリア」

なか やま ゆき ひ こ
長野県富士見町 中山 幸彦さん

定年退職後、作る人がいなくなった実家の畑で栽培を始めました。どうせなら…と近くの道の駅に登録し、高原野菜を出荷しています。レタス類は当初からの主力で、約半数が玉レタス。ロメインレタスは2016年に「誰も出さないもの」と少数を試作しました。翌年数を増やしたら伸び悩んで、2018年は削減。今年はまだ一度挑戦しようと思いました。

4月26日にセルトレイへ播種し、庭先で保温育苗。管理には気を配りましたが、今年は4月に珍しく雪が降り、雨も多くて低温続き。その影響か苗は徒長し、5月29日に定植はしたものの、失敗したと半分あきらめぎみでした。それでも、その後は思いのほか順調で、何もせずとも標高900mの高地に害虫被害はなく病気とも無縁。苗の約9割が収穫できました。

出荷は7月6日からです。少しは認知されたのか、観光客の土産物需要か、販売ペースはますますでしたが、正直手応えはありませんでした。一方、道の駅では東京の業者からまとまった注文も受けますが、「ロマリア」にもこれが入って17玉を出すことに。しかも、「たまたま」だと思っていたら、なんと1週間後にも注文がきたではありませんか！ もう残りは少なく、ほぼ最後と10玉を出しましたが、その後も注文は入り続けます。もっと作っておけばと悔やんでも後の祭り。とりあえずは秋に向けてすぐタネをまきました。

ロメインレタスにこれほど手応えを感じたのは初めてです。来年はもっと計画的に播種し、長期間出していきたい。今後はレタスなど数品目に絞り、その分きめ細かな管理をして、納得いくものを生産したいと思っています。



← 出荷物にはエコファーマーの認定を示すラベルと、「ロマリア」の特長書きを添えて。



中玉トマト「フルティカ」 ミニトマト「オレンジ千果」

たか はし かず み
岐阜県輪之内町 高橋 一美さん

定年から2～3年後、両親の畑を受け継ぎ、私と妻で野菜を作ることになりました。ほどなく直売所出荷も始め、以来7年、新鮮でおいしい野菜を安価で販売できるよう取り組んでいます。トマトは当初から栽培していて、「フルティカ」は経験が少なくてもよくできるし、味もいいからどんどん売れる。ありがたい品種でもう何年も作っています。実は「オレンジ千果」も試したことはあり、赤の品種の彩りに混ぜていました。鳥の被害が多くてやめていましたが、モニター募集を見て久々にやりたいと思いました。

2月17日、セルトレイへ播種。加温育苗して約1カ月でポットへ移植し、4月4日に定植しました。どちらも非常に作りやすく、何の障害もないまま収穫期に。6月11日から出荷を始めました。

今回も、最初は「オレンジ千果」を混ぜて袋詰めしていました。それが、お客さんから「この『オレンジ千果』って赤いのより甘いよね」と言われて気づいたのです。彩り用にと考えていましたが、食べると酸味が少ない分、甘みが強く感じられとてもおいしい。それからは「オレンジ千果」だけの袋もつくるようにしました。

「フルティカ」は人気でライバルも多く、競争になると売れ残ることもあり得ます。でも、「オレンジ千果」は競争が少ないので、残ったことは一度もなし。来年はもっと増やそうと決めました。

心掛けているのは、人が作らないような、それでいて売れる野菜を選ぶことです。近年はカボチャ「ほっこり姫」やダイコン「三太郎」などのミニ野菜が大当たり。「オレンジ千果」もですが、おいしい品種は最初はさほどなくても、着実にファンが増えるのを実感しているところです。



← 「フルティカ」は作りやすく味もよい。

フルティカ



→ つやがよく美しい「オレンジ千果」。酸味が少なく甘みが濃い。

オレンジ千果



オクラ「ヘルシエ」

よこ た よし あ き
兵庫県小野市 横田 義昭さん

私は4年ほど前から、隣の加東市にある実家の畑へ通って野菜を作り、道の駅とJA直売所へ出荷しています。オクラは栽培翌年から作っていて、昨年には「グリーンソード」を入れており、ネバネバ成分が多い「ヘルシエ」にも興味をもちました。

5月1日と19日に畑へ直まき。1穴に3粒落とし、発芽したものはそのまま育てました。この方法だと収量が上がるし、大きくなりすぎず後の処理も楽です。特に問題なく育ちましたが、「ヘルシエ」は花落ちが遅く、果実が黒ずむため、早めに花を取り除いた方がよいと思いました。収穫始めは7月10日ごろで、大きなオクラはかたいイメージがあるため、少し短めの11cm弱でとるように。果実はやわらかく、期待したネバネバ成分も、収穫が進むに従って強く感じられるようになりました。

ただ、付加価値を見込んで、最初は「グリーンソード」より高値をつけたものの、丸い形になじみがなくあまり売れてくれません。値を下げ、機能性成分やネバネバをアピールしても同じ。さすがに気落ちしましたが、8月に入って出荷数が増えたりピーターが現れました。徐々に動きがよくなり、お盆前には残ることもなくなってきたのです。何をしても売れなかったのに、今では何もしなくても売れていきます。

来年は育苗したり遅まきしたりして、長期間とれるようにしたい。毎日通うのは大変ですが、売れる楽しみやよいものを収穫する喜びを味わうため、今後も畑を続けるつもりです。



← 110gで100円。大きさをそろえ、美しく詰めるよう心掛けている。